



令和3(2021)年度 大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会

附属池田小中高共同研究テーマ

社会とつながり、 明日を切り拓く資質・能力の育成

小中高・大学の教員が協働して
各校種の研究課題に取り組んでいます。

小学校

子供とつくる学び

中学校

Formative assessment(形成的評価)と
Summative assessment(総括的評価)

高 校

生徒一人ひとりの学びを
深める授業

評価の在り方

気づきを促す

自ら伸びる

令和3年(2021年)

11月20日 土

オンラインで公開 参加費無料・参加申込必須
研究授業(録画)、講演・ワークショップ(Zoom)

場 所：大阪教育大学附属池田小学校・附属池田中学校・附属高等学校池田校舎

〒563-0026 池田市緑丘 1-5-1 TEL(072)761-3591 FAX(072)761-3594

主 催：大阪教育大学池田地区附属学校

後 援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会阪神教育事務所・大阪市教育委員会・池田市教育委員会

時 程



公開授業（小学校）

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
小学1年	国語	おなべのおかゆ ～読書の世界を広げよう～	永松 希美	大阪学院大学 増田 ゆか
小学3年	社会	くらしを守る ～火事から私たちを守るのは一体…～	渡部 寛矢	大阪教育大学 西裏 慎司
小学5年	算数	面積 ～形を変えて考えよう～	中居 宏恵	大阪教育大学 柳本 朋子
小学5年	理科	もののとけ方 ～学習者自らがつむぐ過程を重視して～	光田 匠	桃山学院教育大学 木村 明憲
小学6年	体育	テニピン ～楽しさから育つ4つの視点～	鈴木 裕貴	山梨短期大学 今井 茂樹
小学4年	安全	ネット被害から身を守る ～今必要なネットリテラシー～	山崎 雅史	大阪教育大学 藤田 大輔
小学4年	道徳	花さき山 ～子供が創る問いで善さを追究する探究型道徳～	富山 実樹	大阪教育大学 小林 将太



公開授業（中学校）

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
中学3年	国語	人と場所を結ぶ漢詩の力 ～四つの涼州詞から～	小林 信之	大阪教育大学 土山 和久
中学2年	社会	地域の魅力を引き出すSDGs未来都市計画 ～持続可能な社会を目指せ。過疎地域の復活事業～	西邑 悠佑	大阪教育大学 峯 明秀
中学1年	数学	データの活用 ～写真の構図を考える～	塩田 和也	大阪教育大学 柳本 朋子
中学1年	理科	光・音・力による現象 ～ビーカーの下のコインの謎～	中塚 麻衣子	大阪教育大学 仲矢 史雄
中学3年	音楽	スポーツピクトグラムを表す音楽を創作表現しよう ～音素材の特徴を捉えた旋律の創作表現～	内兼久 秀美	岐阜大学 松永 洋介
中学1年	保健体育	テニピン ～運動の特性を味わい、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成～	森田 直樹	山梨学院短期大学 今井 茂樹
中学3年	技術	エネルギー変換 持続可能な社会に向けて発電の選択	浅野 浩志	大阪教育大学 吉岡 利浩
中学1年	英語	「ユニークな教育活動を校外に発信しよう」 ～地域の学校と英語でオンライン協働学習～	岡本 健太郎	元 金城学院大学 中西 哲彦
中学1年	総合	「総合的な学習の時間 災害について考える」 ～探求的な学習を通して災害時を想定した中学生にできる行動を考える～	大野 真貴	大阪教育大学 藤田 大輔
中学3年	道徳	ハッチを開けて、知らない世界へ ～ICTを活用した道徳教育の実践～	三好 達也	大阪教育大学 小林 将太

公開授業（高校）

学年	教科等	単元・題材・主題名	授業者	指導助言者
高校1年	公民	「公共」探究プロセスを取り入れた授業実践 ～地域創生プロジェクト・過疎化問題を考える～	神内 千波	大阪教育大学 峯 明秀
高校1年	理科	ICT機器を用いた主体的・対話的実験実習	池内 遼太郎	大阪教育大学 仲矢 史雄
高校2年	保健体育	新たなボールゲームの創造 ～参加者主体のゲームチェンジ～	森 大光	大阪教育大学 井上 功一
高校1年	英語	SDGs9:Industry, Innovation and Infrastructure ～IT弱者を考える～	大賀 晃代	元 金城学院大学 中西 哲彦
高校1年	グローバル探究I (総合I)	論理の型を変えることで深める探究活動 ～「コンビニの24時間営業の是非」をテーマにしたディベートからの発展～	高市 佳名子 大賀 晃代	大阪教育大学 八田 幸恵

A

セーフティプロモーションスクール (SPS)について

講師：藤田 大輔（大阪教育大学 教授）

セーフティプロモーションスクールとは、組織的・実証的な安全対策に取り組んでいると評価された学校に与えられる名称です。セーフティプロモーションスクールの活動は、文部科学省の「学校安全総合支援事業」や政府の「経済財政運営と改革の基本方針2021(骨太の方針2021)」でも紹介されています。今回の講演では、セーフティプロモーションスクールの具体的な考え方とその活動の進め方について解説します。

B

国際バカロレアのATLスキルを育む 評価課題の設計と実施

講師：ベルショー トーマス（市立札幌開成中等教育学校 MYP コーディネーター）

学校教育において評価は当然のよう行われています。ただし、知識だけでなくスキルを育むような評価課題がますます必要とされてきています。今回のワークショップで、評価の在り方をスキルの観点から体験的に探究することによって、評価に関する新たな発見を目指します。特に、真正(Authentic)な評価の作り方及びそれに向けた授業設計を具体的に考える時間になります。

C

評価指針の開発

講師：仲矢 史雄（大阪教育大学 教授）

指導と評価の一体化の重要性がうたわれて久しい。知識の正確さに偏った評価への批判から、評価方法の改善が求められているものの、明確な改革の方向は見えにくい。現在、大阪教育大学と附属高校は、ワールドワイドラーニング(WWL)事業を通じて、既存の中等教育の課題を乗り越えるために教育研究を行っている。取り組むべきとされている教育課題は、非認知能力の伸長である。非認知能力とは試験では測ることが困難な能力と言える。では、指導が行われる"イノベーションを生み出す力"などの非認知能力は評価できるのか、また出来るとすればどのようなアプローチが可能なのか、現在の取り組みを紹介する。

講師（講演・ワークショップ）

A

藤田 大輔 *Daisuke Fujita* 大阪教育大学 教授

神戸大学発達科学部助教授を経て、平成16年から大阪教育大学教授。平成19年から4年間、大阪教育大学附属池田小学校長を併任。平成26年から学長補佐(学校安全担当)及び令和2年から学校安全推進センター長を併任している。平成26年にセーフティプロモーションスクール(SPS)の認証制度を創設し、その制度の国内外での普及に従事している。現在、中央教育審議会学校安全部会部会長代理。

B

ベルショートーマス *Belshaw Thomas* 市立札幌開成中等教育学校 MYP コーディネーター

イギリスで生まれ育ち、イギリスの公立高校で国際バカロレアのディプロマプログラムを修了し、マンチェスター大学へ入学しました。生徒としての経験も活かし、現在市立札幌開成中等教育学校でMYPコーディネーターを務めています。コーディネーターとして、校内研修等を通して教員のIBに関する理解と関心を深め、より発展しプログラム実施を目指しています。学校の業務以外に、IBの公式ワークショップリーダーの資格を持ち、オンラインでも対面でも様々な研修を行っています。

C

仲矢 史雄 *Fumio Nakaya* 大阪教育大学 教授

同志社大学工学部(機械工学)卒。名古屋大学大学院博士課程前期(集団遺伝学)修了。

東京工業大学理学博士号取得(Bioenergetics)。東京工業大学、お茶の水女子大学において、生理学研究に従事。2005年以降お茶の水女子大学、講師として、東京都、北区、文京区との連携事業において小、中学校の現場を中心に従事。2010年10月から大阪教育大学、科学教育プロジェクト推進のため、附属特別支援、幼小中高の連携支援活動に従事。iPad用アプリ、教育科学研究用AIを開発。SSH、SGHにおける教育効果の分析と、自治体・大教大の共同研究事業において、言語技術能力の影響要因を解析。

ごあいさつ

大阪教育大学池田地区附属学校では、小学校・中学校・高等学校の教員が定期的に集まり、子ども達の12年間の成長を見通した教育の在り方について、熱心に共同研究を続けています。

今年度は、一昨年度からの設定している池田地区の共通テーマ「社会とつながり、明日を切り拓く資質・能力の育成」の第3年次に当たります。初年度は、新しい時代に必要な「資質・能力」とは何かを考え、その育成方法について研究しました。昨年度は、「探求」をキーワードとし、各段階における探求のプロセスについて研究を深めました。今年度は、「自ら伸びる気付きを促す評価の在り方」をサブテーマとし、子ども達が自らの学びを実感し、次の学びへと向かうことができる評価活動について検証することを目指しています。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、池田地区各学校の教室での公開授業ではなく、オンラインでの公開授業となります。昨年に引き続きご参加の皆様にはご不便をおかけしますがご理解の程よろしくお願ひいたします。

令和3年10月

大阪教育大学池田地区附属学校共同研究協議会委員長

眞田 巧

実施方法

- インターネット上での公開研究会と研究協議会、講演・ワークショップを行います。
事前に各教科の授業動画等をネット上で閲覧していただき、研究協議会にご参加ください。
研究会のサイトに全ての授業動画を載せる予定ですので、全授業を閲覧していただくことが可能となっております。
※授業のライブ配信ではありません。授業によって時期が異なります。
- 授業動画以外にも指導案、授業記録等の資料を載せる教科等もあります。
- 研究協議会の時程を含め詳しい情報については、授業動画を閲覧するサイトでご確認していただけます。
なお、授業動画を閲覧するサイトに関しては、パスワードがかかっており、事前申し込みをしていただいた方のみ閲覧できます。
そのため、必ず事前申し込みをしていただきますようお願いします。

その他

- 申し込みフォームでは教科等の選択をいただきますが、公開授業は全教科等をご覧になれます。
- 研究協議会、ワークショップについてはそれぞれの参加フォームにて申し込みください。
後日参加に必要なコードをご連絡します。
- その他、状況により内容が変更することがあります。
詳しくは研究会のサイトをご覧ください。

参加申し込み

参加を希望される方は、大阪教育大学附属池田中学校ホームページ
(<https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-j/research/seminar/>)からお申し込みください。
お申し込みは、令和3年(2021年)10月19日(火)～令和3年(2021年)11月12日(金)17時
までにお願いします。
それ以後に申し込みをされる場合は、ホームページに記載しております、連絡先にご連絡
お願いします。
申し込みをされた方には、後日、メールにてパスワードの連絡をさせていただきます。

参加申し込みに関する問い合わせ

池田地区附属学校共同研究協議会事務局

☎ 072-761-3591 (大阪教育大学附属池田小学校)